

「あるくす Lake Town まちづくりデザインガイド」チェックシート

■ 届出者

■ 設計監理者

街区
番号

画地
番号

氏 名

印

連絡先 (Tel)

住所

会社名

住所

担当名

tel

会社名

住所

担当名

tel

* 記入例は裏面にあります。

■ 届出対象物 届出する対象物に該当するものにチェックを付けて下さい。(複数選択可)

- ☐ 建物 (庇、シェルター などを含む)
- ☐ 工事中の囲い、仮設建物
- ☐ 看板、広告 等
- ☐ 駐車、駐輪場 (立体駐車場、時間貸し平面駐車場 などを含む)
- ☐ 付帯設備 (門、塀、給湯器、室外機、自動販売機など)
- ☐ その他 ()

チェック項目				はい	いいえ	対象外	いいえの理由 等
A	建物配置・外構	a 隣接地との関係 敷地と隣接地の関係を大切に、街並みの調和・デザインを心掛け、心地よい隣接地との境界「ハザマ空間」をつくる。	Ⓐ A-1	☐ 隣接地境のハザマ空間に「かき」、「さく」などを設けていない ☐ 敷地の少なくとも1面を広い空間としている その他の工夫 ()			
			A-2	☐ 隣地境に庇やピロティ等の工夫をしている			
		b 公共空間との関係 敷地と公共空間 (道路・水辺) の関係を大切に、連続的、一体的な街並み景観をつくる。	Ⓐ A-3	☐ 隣接地の壁面後退空間の連続性に配慮している 舗装材の工夫をしている 色 ・ 素材 ・ その他 () 植栽の工夫をしている ・ その他 ()			
			A-4	☐ 歩行者の妨げになるような位置、景観を著しく損ねる位置に塀、屋外設備、自動販売機、植栽帯などを設置していない			
			Ⓑ A-5	☐ 高木植栽ができるよう、水辺 (調節池管理用通路) 側を壁面後退している			
B	駐車・駐輪場	配置の工夫・植栽などで周囲から見えないように工夫し、露出する場合は、周辺景観と調和するような意匠とする。	Ⓐ B-1	☐ 駐車場の遮蔽を行なっている 遮蔽方法: ☐ 駐輪場の遮蔽を行なっている 遮蔽方法:			
			B-2	☐ 駐輪、駐車場の出入口を集約している			
C	緑景観・植栽	敷地内、および公共空間沿いに一定の植栽を設ける。	Ⓐ C-1	☐ 公共空間沿いには高木を各敷地毎に高さの2倍以内の間隔で設置している 高木本数 本 間隔 m ☐ 高木植栽が敷地の条件等により困難である為、沿道緑化を行なっている (長さ = 接道部 × 0.5) 敷地間口幅 緑化長さ m 沿道緑化の種類 道路側の側面 (壁面緑化) ・ ベランダの緑化 ・ その他 ()			
			Ⓑ C-2	☐ 角地 (街角) 部分で、アイストップの工夫をしている。			
			Ⓐ C-3	☐ 可能な場所に植栽をしている			
D	建物外観	a ファサード (立面景観) 低層部と高層部それぞれの調和に努める。 低層部: ぎざいを重視した意匠とする。	Ⓐ D-1	☐ 低層部と高層部の外壁に変化を付けている 色 ・ 素材 ・ 形状 ・ その他 () ☐ 低層部の外壁の色の明度を高層部より低い (低明度) としている			
			Ⓐ D-2	☐ 道路、水辺に面し開口部もしくは、ショーウィンドウを設けている ☐ シャッターは見通しのあるものになっている (パイプシャッター、シースルーシャッターなど)			
		高層部: 街としての一体感 (調和) を重視した意匠とする。	Ⓐ D-3	☐ 隣接建物や周囲との調和に配慮している 配慮、工夫したこと ()			
			Ⓐ D-4	☐ 建物頂部 (屋上・屋根) に設ける、塔屋、屋上建築設備が周辺のビューポイントから目立たないように配慮している ☐ 屋外 (外壁面・地上・ベランダ・バルコニーなど) に設置する建築設備が周辺のビューポイントから目立たないように配慮している			

例

対象敷地を表示

色・素材・形状・その他()

いいえの場合、その理由を記入して下さい。

はい、いいえ、対象外の内、該当するものに「○」をつけて下さい。

※裏面にも項目があります。

チェック項目			はい	いいえ	対象外	いいえの理由 等
E	色 彩	原色などの、過度に華美 な色彩を避け、いろどりの 調和を図る。				
		低層部				
		Ⓖ E-1	☐ 色彩マンセル値が彩度4以下、明度6以上になっている 屋根 彩度 / 明度 外壁-1 彩度 / 明度 外壁-2 彩度 / 明度 ☐ アクセントカラーが低層部壁面の見つけ面積の1/20以下になっている アクセントカラー の色調 彩度 / 明度 見つけ 壁面積 m² アクセントカラー 合計面積 m²			
		高層部				
		Ⓖ E-2	☐ R・YR・Y系色相 彩度 4 以下になっている ☐ GY・G・BG・B・PB・P・RP系色相 彩度 2 以下になっている 屋根 彩度 / 明度 外壁-1 彩度 / 明度 外壁-2 彩度 / 明度 ☐ 全ての色相で低層部より明度差2以上明るい ☐ アクセントカラーが各階毎の壁面の見つけ面積の1/20以下になっている アクセントカラー の色調 彩度 / 明度 見つけ 壁面積 m² アクセントカラー 合計面積 m²			
屋根						
		Ⓖ E-3	☐ 建物の屋根は景観に配慮した色彩(越谷市景観計画による)としている			
F	広 告 物 看 板 サ イ ン	埼玉県屋外広告物条例を 遵守し、景観上、過度に 違和感のあるものを避け 調和させる。				
		Ⓖ F-1	☐ 一つの建物に入る店舗、事務所などの看板をまとめて設置している			
		F-2	☐ 建物頂部に設ける看板広告は建物デザインと調和させている			
		低層部				
		Ⓖ F-3	☐ 低層部の広告表示面積の合計が低層部壁面の見つけ面積（開口部を含む）の1/10以下の大きさとなっている 見つけ 壁面積 m² 広告表示 合計面積 m²			
高層部						
		Ⓖ F-4	☐ 高層部の広告表示面積の合計が高層部壁面の見つけ壁面積（開口部を含む）の1/20以下を大きさとなっている 見つけ 壁面積 m² 広告表示 合計面積 m²			
		F-5	☐ 敷地内の高層部に突出し広告（建物の壁面から突き出す屋外広告物）を設置していない			
G	夜 間 景 観 ・ 照 明	にぎわいと品格を感じ させる夜間景観とする				
		低層部				
		Ⓖ G-1	☐ 屋外照明について、建物や樹木への投光を行なっている ☐ 暖かみのある光源を使用している			
		Ⓖ G-2	☐ 道路、水辺に面した開口部、ショーウィンドウの夜間景観の演出をおこなっている			
高層部						
		Ⓖ G-3	☐ 過度に華美な点滅照明、サーチライト、レーザー照明やネオン照明を設置していない			
H	防 犯 ・ 管 理 ・ 環 境	情報交換や協議をするなど 協力し合いながら、まちづく りを行なう。				
		Ⓖ H-1	☐ 死角を避けた見通しの良い計画、又は安全対策が取られている			
		H-2	☐ 協議の必要な項目について協議を行なった又は予定されている ☐ A 建物配置・外構 ☐ B 駐車場・駐輪場 ☐ D 建物外観 ☐ G 夜間景観・照明			
		H-3	☐ 省エネルギー対策を主とした環境配慮を行なっている。 ※屋上・壁面緑化、再生可能エネルギーの使用、高効率給湯器、雨水貯留槽、LED照明など 環境配慮の方法：			

この計画は「あるくす Lake Town まちづくりデザインガイドライン」に

- 適合しています
- 別紙の点でご検討をお願い致します